

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】専門演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	藤沢 真理子	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
このゼミでは、防災と福祉について学ぶ。阪神淡路大震災や南海トラフ地震などテーマを設定したレポート作成やプレゼンテーションを通して、基本的な防災・減災の知識とスキルを学び、自分と大切な人の命を守る目的を持つ。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業の内容によって、ディスカッション、プレゼンテーション、グループワークを取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	専門演習Ⅰを振り返るとともに、専門演習Ⅱの目的と内容、進め方について理解する	☐
第2回	研究テーマに関する調査（既存文献の調査）	防災と福祉に関する既存文献を調査する	☐
第3回	研究テーマに関する調査（文献の報告）	防災と福祉に関する文献調査を報告する	☐
第4回	研究テーマに関する調査（追加文献の調査）	防災と福祉に関する追加文献を調査する	☐
第5回	研究テーマの決定	各自が研究テーマを決定するとともに具体的な方法について検討する	☐
第6回	研究テーマに基づく相談（研究目的の明確化）	研究目的を明確化する	☐
第7回	研究テーマに基づく相談（研究の方法）	研究の方法を検討する	☐
第8回	研究テーマに基づく相談（研究の内容）	研究の内容について検討する	☐
第9回	研究発表についての説明	研究発表をどのように進めるのか説明をきく	☐
第10回	第1グループの発表	地震に関する研究を行った第1グループが発表する	☐
第11回	第2グループの発表	津波に関する研究を行った第2グループが発表する	☐
第12回	第3グループの発表	台風に関する研究を行った第3グループが発表する	☐
第13回	次年度研究への準備	次年度の研究を進めるために準備の具体的方法を理解する	☐
第14回	まとめ	専門演習Ⅱの内容をまとめる	☐
第15回	ゼミナール大会の参加	ゼミナール大会に参加し、次年度発表の参考にする	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
事前学習として、2時間程度、関連資料や新聞や図書などを読んで準備する。事後学習として、2時間程度、ゼミで学んだことをまとめることを課す。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
課題は、翌週フィードバックし、全体で共有する機会をもつ。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

	◆ 2018人間健康DP2	防災と福祉の分野における問題意識を持ち解決策を探索できる。
--	---------------	-------------------------------

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 各自のテーマに合わせて、プレゼンテーション資料を作成し、発表する。 また、「出席」になるには、対面授業（対面授業ができない状況ではリアルタイム授業）に参加することが求められる。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて資料を配布する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業の中で適宜紹介する	
2		
3		
4		
5		